

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ウォーロード	Lv.1:	ウォーリア	レベル	15
サポートクラス	サムライ	Lv.1:	バイキング	性別	女
称号クラス				年齢	20
種族	ヴァーナ:狼族(狐)			境遇	放浪者
出自(効果)				目標	修行

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	33	24	12	6	10	23	8
ボーナス	11	8	4	2	3	7	2
クラス修正	3	3	1	0	0	1	0
他修正							
能力値	14	11	5	2	3	8	2

HP	183
MP	112
フェイト	7

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	数珠丸(スキル諸々込み)	至近	-1	51	0	0	0	0	0
左手	紅鋼の腕					10	2	-2	
頭部	紅鋼の兜				-2	8	2		-2
胴部	紅鋼の胴				-3	15	3		-4
補助	紅鋼の小具足					7			-2
装身具	紅鋼の鞘								
能力値			11	0	5	0	8	8	19
スキル	インサイトブレイド、ハイボルテージ		3	12				1	5
その他	戦士の環、名馬、兜、鞘		2	1		8	5	3	15
総計(右)			15	64					
総計(左)					0	48	20	10	31
総計(両)									m
ダイス数			4 d	5 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	11			11	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定	2			2	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
ベルトポーチ	クイックケース
異次元バッグ	転移符×2
ポーションホルダー	強心丹×2
小道具入れ	聖水×2
冒険者セット	戦士の環
耐毒符×2	剣鬼の鱔
飛翔符×2	マッスルゲイン
グレートHPポーション×9	名馬
グレートMPポーション×9	理力符(火)
蘇生薬×5	筋力の護符
万能薬×5	刀魂・火

現在重量: 48
 最大重量: 93
 所持金: 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オーバーパス	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果:	狼族、移動力+5m、行動値に+1							
バッシュ	★	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果:	武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]							
ボルテクスアタック	★							
効果:								
セルフプライド	★							
効果:								
アクアスタンス	★							
効果:								
シンクロナイズ	★							
効果:								
リリース	★							
効果:								
スキップジャック	1							
効果:								
スマッシュ	★							
効果:								
クラン=ベル・スタイル	★							
効果:								
カバーリング	★							
効果:								
トゥーハンドアタック	★							
効果:								
カバームーブ	2							
効果:								
スピリット・オブ・サムライ	1							
効果:								
アームズマスタリー:刀	★							
効果:								

1話終了時
 「私の力はこの程度のもだったのか?もっと、もっと強くならねば…」
 ナタネは自分の無力さに驚愕していた。目の前で倒れてゆくユリウスをただ指を咥えてみているだけしかできなかった事。依頼の為とはいえ仲間を見捨てて逃げ帰らざるを得なかった事。あの時、もしもユリウスが覚醒してなかったら?あの時、もしもアンナが引き付けてくれていなかったら?PTIは壊滅、生きて帰れた者は居なかったに違いない。彼女はより強くなる事を決意する。己の武士道を見つける為に。そして、英雄と肩を並べて戦えるように。

2話終了時
 「未熟な腕前で済まない…どうかせめて、安らかに眠ってくれ…」
 彼女の故郷には「切腹」という罪人が自死を行う文化があり、その苦痛を緩和する為に引導を渡す「介錯人」という者が存在する。彼女の一族は介錯人ではないが、武士として彼女も知識では知っていた。魔法書店で出会った動く死体の塊を一目見た時、彼女は激しい憤りを感じた。死者とは敬意を払うべき存在である。彼らの尊厳を弄び、自分の手駒の様に扱うという事は彼女は許せなかった。本来、介錯とは苦痛を感じぬ様、一振りで済ますものである。しかし、自身の力量不足からか、何度も彼らを傷つけてしまった。彼女は己の無力さが情けなかった。魔法書店での一件以降、彼女の鍛錬へと注ぎ込む時間はより長くなった。もっと強くなる為に。二度と彼らの様な存在を苦しめることのない様に。

3話終了時
 「—紛い物の力なんて、何の価値もない。」

